



長尾 義和

新たな公共交通対策 (乗り合いタクシー制度)

問 11月会議で「切れ間のない移動手段の早急な確保を求める請願」を採択したが、町長はこの請願をどう思われたか。

答 限られた予算の中で、減便による影響を最小限にとどめるべく、新交通システムの実証実験を一日も早く実施したい。

問 新交通システムについて、予算面も含め内容を問う。

答 路線バスが運行していない地域を中心に、乗り合いタクシーによる運行を計画している。12月定例会議に上程した債務負担額(1500万円)の範囲内で実施を考えている。

問 新交通システムの本格運行後、阪急バス路線はどうなっていくのか。

答 基幹交通として阪急バスの存続は大きな課題である。今年度の実施したOD調査(阪急バス利用者に対する利用目的や頻度などの実態調査)の結果を基に、利用ニーズに応じた路線の在り方を検討したい。

問 請願で言われている補完交通の確保も重要であるが、まず公共交通の空白地を解消させることが、地域の均衡を考えたとき重要と思うが、考えを問う。

答 補完交通の必要性については一定理解をするが、現在、路線バスが運行していない地域に新交通システムを導入していくことが、住民福祉の向上並びに税の公平性の観点からも優先する施策であると認識している。

新たな交通システム(デマンド型乗り合いタクシー)の運行内容(案)

運行区域	①天王地区、岐尼地区の一部 ②久佐々地区の一部、田尻地区	2ルートを想定
運行日	各ルート週3日ずつ運行(予約運行、日曜日は運行外)	
運行時間帯	概ね8時台から17時台	
運行回数	概ね60分～90分のダイヤ設定により6～10回/日	
運賃	大人300円	
停留所	各地区の公民館や集会所等を中心に停留所を設置予定	
主な目的地	役場、保健センター、山辺口・森上・能勢町宿野停留所	
実証運行開始予定日	令和4年7月頃(検討状況により変更になる可能性あり)	

※令和3年12月議会全員協議会資料より抜粋

一般質問



奥 久明

空き家対策

問 空き家対策には移住者に住んでもらうことが重要と考えるが移住者相談窓口問合わせ件数は増加しているか。

答 令和元年度は21件、令和2年度は64件と3倍に増加している。

問 移住者数は増加しているのか。

答 令和元年は280人、令和2年は287人で大きな変動はない。

問 不動産の協定締結業者への問合せ件数、成約件数を問う。

答 令和2年度から3年度11月末までで問合わせ件数は59件から113件へ、成約件数は21件から25件に増加している。

問 大阪版空家バンクのHPについて乳幼児健康診断・妊婦歯科健診等を追加掲載してはどうか。

答 その時点で必要な施策の情報を更新していきたいと思う。

問 町外の方に知ってもらうために町のHPに民間の不動産検索システムとのリンクを貼ったり、宅建業界と連携することはできないか。

答 民間業者が色々な物件を取り扱っており、直ちに情報を載せていく必要性は状況を吟味しながら検討していければと考える。

